

青森田中学園報

こぶしの花

Kobushi no Hana

青森中央学院大学
青森中央短期大学
青森中央経理専門学校
青森中央文化専門学校
青森中央短期大学附属第一幼稚園
青森中央短期大学附属第二幼稚園
青森中央短期大学附属第三幼稚園
中央文化保育園
浦町保育園



平成22年度卒業生の進路


vol.81

目次

特集：
平成22年度卒業生の
キャリア進路

2

青森中央学院大学

6

- ・卒業・入学
- ・地域マネジメント研究所
- ・国際交流センターより
- ・サークル・ライフ
- ・ゼミ探訪
- ・私の1冊
- ・OB通信

青森中央短期大学

8

- ・入学式・ガイダンス
- ・SESSIONS ON THE ARTS 2011
- ・チュラロンコン大学視察団受入
- ・先生の自分史
- ・研究室を訪ねて
- ・読んで欲しいこの一冊
- ・卒業生も活躍しています

附属第一・第二・第三幼稚園
浦町保育園 中央文化保育園

10

- ・先生達活躍しています
- ・読み聞かせたい一冊の絵本
- ・英会話遊び保育・教室
アンジェロ先生！

青森中央文化専門学校
青森中央経理専門学校

12

- ・卒業証書授与式
- ・入学式・オリエンテーション
- ・「学生時代をいかに過ごすか？」
- ・自分の未来像
- ・進級者の意気込み
- ・経理発信情報
- ・ファッション通信
- ・おススメ図書
- ・卒業生ピックアップ

新教職員紹介

14

インフォメーション

16

号外・東日本大震災対応

20

特集 平成22年度卒業生の
キャリア進路

今後の経済動向とキャリア活動の指針

キャリア支援センター長 平出 道雄

わが国の雇用状況は、10余年続くデフレ経済、財政赤字拡大改革による財政歳出圧縮等を背景に年々厳しさを増してきました。ところが、3.11の巨大地震と津波、それに伴う世界に例を見ない原発事故、さらに加えて、2次、3次被害拡大で、平成23年度の雇用情勢は極めて深刻な事態に陥っています。こうした厳しい情勢の中で平成22年度の本学園の大学就職内定率は94.2%、短大同96.6%、専門学校同91.2%となり、青森労働局発表の本県各校内定平均を大きく上回ったことは、学生の努力と共に、卒業生、指導教員、キャリア支援センター職員や関係者のご努力によるものであり深く感謝しています。

平成23年度は、大震災関連による直接、間接マイナス効果によって生産や輸出の減少、個人消費停滞等から一段と雇用状況は厳しくなることが予想されます。確かに、年度後半から復興需要やサプライチェーン（供給網）回復といったプラス要因も働くでしょうが、計画停電や原発事故修復の長期化、外国人観光客減少等の不安定要因のため、雇用を拡大する企業は全体として少ないとみられています。

特に、青森県はここ数年人口減少が加速しており、全国で最も憂う県の一つになっています。人口減少は雇用減少の最大要因になります。また、近年本県経済をリードしてきた六ヶ所村、東通村、大間町、むつ市等の原子力関係プロジェクトは、当面再稼働・建設が厳しい情勢にあり、これらの建設投資減少も無視できません。新幹線効果も旅行客、外国人入国者減で当初の期待通りには進まないと思われます。

しかし、我々は静止しているわけにはいきません。今年度は以下の取り組みを一段と強化して成果を上げていきます。

- ①エントリー記入力、面接力アップ等、実践力を強めるキャリアプログラムに力を注ぐ。
- ②企業訪問、企業説明会を重視し、企業や就職支援外部機関との連携強化を一層図る。
- ③キャリア支援センター窓口における学生指導、支援の強化。
- ④公務員講座充実、教員資格等取得教育、支援活動の強化。
- ⑤日本企業への留学生就職支援強化。

就職内定の成果は、学生自身が頑張ることが基本ですが、指導教員方、運動部監督・顧問方、キャリア支援センターの支援、指導が一層きめ細かく展開されることが肝要です。連携のもとご協力を切にお願い致します。

青森中央学院大学の状況

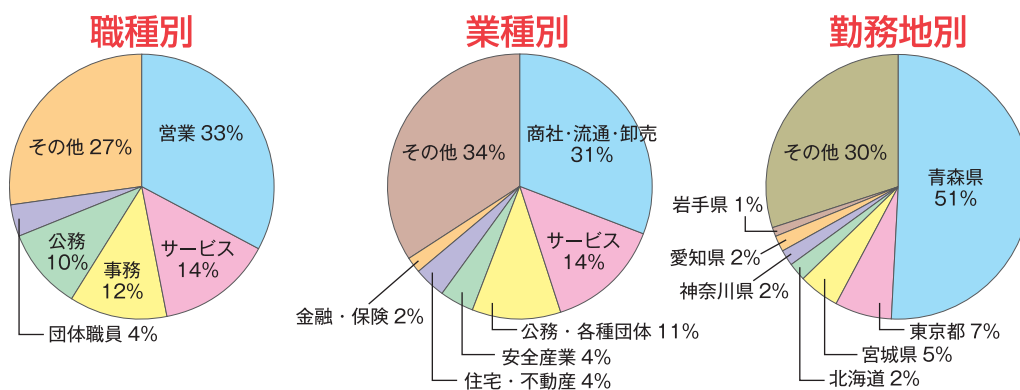
文部科学省ならびに厚生労働省が、3月18日付けで発表した平成23年3月卒業の大学卒就職内定率は、氷河期並と言われた一昨年の同期比をさらに2.6ポイント下回る77.4%と過去最低の水準となりました。青森労働局が4月26日付けで発表した県内の大学卒就職率も89.9%と同様の厳しさを示しています。

しかし、こうした状況下でも、本学卒業生は94%超という昨年を上回る実績をあげ、「就職に強い大学」という県内外からの評価を守ることが出来ました。しかも「就職意志なし者」をきわめて少数に抑えての、実質的な内定率です。内容的にも青森市役所職員を含む公務員試験への合格や、青森銀行をはじめとする県内有力企業、さらには郵政、JR等の全国区企業への内定と、例年を上回る結果でした。

この数年間、はっきりと確認できることは、本学のキャリア支援プログラムに真剣に取り組み、厳しい条件の中でも粘り強く就職活動を継続した学生ほど、より早く、あるいはより納得のいく内定を得ている事実です。在学生の皆さんも、ぜひ優秀な先輩たちを見習って下さい！

(キャリア支援委員会委員長 鈴木 克成)

進路データ



就職活動体験記



近藤 杏奈 さん
町田アンド町田商会

働き始めて常に感じることは、日々勉強であるということです。社会人になると与えられるものを吸収するだけではなく、何を吸収するのかという選択の連続です。また、自ら考え、まとめ、発表する力も同時に求められます。インターンシップや、沢山のプログラムの中でそういった能力を鍛えることが出来ました。

仕事もキャリアプランニングのプログラムも淡々とこなすだけなら誰にでも出来ます。貴重な機会を逃さず自身の成長の糧に出来るよう心掛けることが何より大切だと思います。



福田 麻美 さん
青森市役所

私がキャリアプランニングで取り組んで良かったと思ったのは、トライアウト^註です。

トライアウトでは、企業の方と接する機会があること、大勢の前で発表する機会があることなど、他にもキャリアプランニングを通して様々な体験をしましたが、どれも今となってはととても貴重な体験でした。

皆さんも積極的に取り組んで欲しいと思います。

註) 本学独自のプログラムで、企業からの課題に応えるビジネスプランを研究・発表するプログラム。

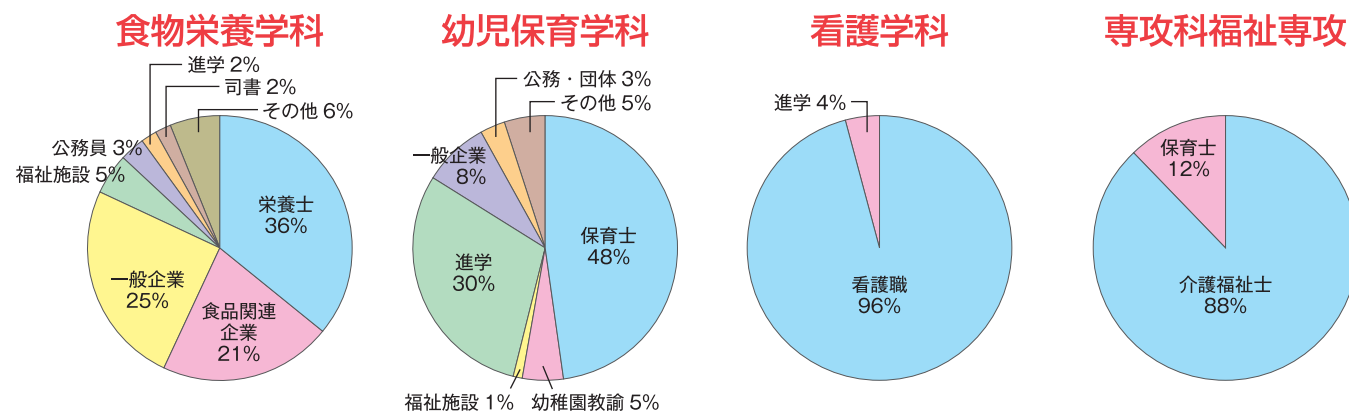
青森中央短期大学の状況

平成11年度以来の「就職氷河期」といわれた昨年度でしたが、短期大学の全国平均80%台に対し、本学では昨年度並みの96%を達成しました。

食物栄養学科は、専門職を活かした就職（栄養士と食品関連企業）が57%に達しました。特に栄養士は首都圏採用が9名を数え、今後も学生だけでなく家族を含めたキャリア支援が必要となるでしょう。公務員は青森市の正規採用が含まれています。**幼児保育学科**は、保育士、幼稚園教諭に加え、専攻科福祉専攻への進学が安定しており、専門資格を活かした就職・進学率が85%に達しました。進学には社会福祉士を目指した四年制大学への編入合格が含まれています。**専攻科福祉専攻**は、安定した就職が続いており、幼児保育学科からの進学希望者にも良い指針となっています。**看護学科**は、看護職としての就職が（進学者3名を除き）96%に達しています。地域別では青森県内が57%、その他の東北5県が9%であり、3分の2が過去の卒業者と同様に、東北圏内で看護職としての貢献を果たす結果となっています。

震災の影響で、今年度も予断を許さない状況です。一段と早期からの粘り強いキャリア支援を組み、学生、保護者、教員、職員とともに闘い抜いていきます。（キャリア支援委員長 宮田 篤）

進路データ



就職活動体験記



三上 菜穂子 さん

弘果 弘前中央青果

私が就職活動を始めたのは2年生の春からでした。6月中旬、興味を持っていた会社の求人情報を見て、躊躇せずに受験することを決意しました。1次試験は筆記試験と作文、2次は面接で、面接は思っていた以上に緊張しました。

私が重要だと感じたことは、日々の勉強の積み重ねと面接での印象です。特に面接は、笑顔と大きな声で話すことがとても大切だと痛感しました。そして、興味がある会社であれば、どんどん挑戦することも大事だと思います。



杉本 杏里紗 さん

むつひまわり幼稚園

私は、先生やキャリア支援センターの方の話を聞き、2年生の春頃から就職について強く意識するようになりました。就職活動を始めてからは、入学当時から地元就職を考えていたこともあり、地元で行った実習園への就職を希望しました。先生方や家族、友達に相談をしながら自ら根気強く園に電話や訪問をし、2月中旬に就職試験に臨みました。

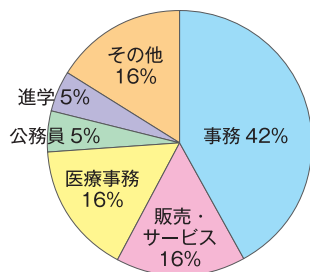
見事採用が叶い、社会人としての自覚や目標を持つことができたと同時に、諦めないで就職活動して本当に良かったと思っています。

専門学校

青森中央経理専門学校

医療事務コースの1期生が卒業し、新たな分野で活躍する人材を輩出することができました。県内、特に青森市内の求人が遅く、地元志向が多い本学生の就職活動も遅くなる傾向となりました。幸い震災による内定取消はありませんでしたが、今後も様々な影響が予想されます。就職先の開拓と、学生の早期就職意識向上が最重要課題です。（キャリア支援担当 鈴木 伸吾）

青森中央経理専門学校

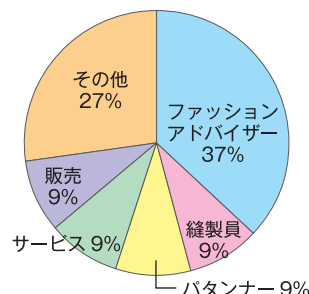


青森中央文化専門学校

早くから目標を定め就職活動をした学生は、ほぼ希望の職種に就職を決めることができました。目標が定まる事で授業への取り組みも違ってきます。

学生時代に体験したことが自己PRにつながり、経験した成功や失敗をプラス思考で自分自身の糧として活動することが内定を決めるポイントとなりました。（キャリア支援担当 鈴木 伸吾）

青森中央文化専門学校



キャリア支援センターキャリアアッププログラム

- **青森中央学院大学**は、学年ごとに獲得すべきキャリアスキルを設定し、その目的に応じたバリエーション豊かな取り組みを展開しています。

1年次：コミュニケーション力を高めることを目的とした、「コミュニケーションプラクティス」「トークサロン」「卒業生とのトークセッション」

2年次：実践力を養うことを目的とした、「eコマース」

3年次：就職活動に向けての訓練・知識を養うことを目的とした、「学内企業セミナー」「公開模擬面接」

- **青森中央短期大学**は、卒業までの期間が短いため、1年次から様々な形でのキャリア支援を行っています。

1年次：「学内企業セミナー」「インターンシップ」「グループ模擬面接」「卒業生による講話とフリートーク」

全学年：「就職支援セミナー」「個別相談」「履歴書・面接指導」

- **青森中央文化専門学校**は、「卒業生からのメッセージ」「職業人講話」「ビジネスマナー」を実施する他、学年毎に各種プログラムを行っています。

1年次：企業研究、現場の雰囲気を知ることが目的とした、「企業実習」「学内企業セミナー」

2年次：就職活動に向けて知識を深めることを目的とした、「模擬試験」「模擬面接」

- **青森中央経理専門学校**は、模擬面接や学内企業セミナー参加、個別面談、ビジネスメイクマナー講座等の他、コース毎に学生に必要な実務経験を以下の通り実施しています。

経理事務コース：FP協会主催のフォーラム参加や学生PC教室開催

医療事務コース：市内の病院・医院にて医療事務補助として現場経験

観光コンシェルジュコース：実務経験の機会として観光施設や旅行会社で実習

青森中央学院大学

卒業・入学

「巣立ち」

3月17日、青森中央学院大学第10期生及び同大学院第6期生の学位記授与式が挙行された。



本学において学業や研究と同時に様々な活動に取り組むことによって立派に成長した卒業生の姿に、参列された保護者、在校生、来賓とともに私たち教職員一同は大きな感動に包まれた。学位記を受け取る一人ひとりの学生からは、未来への希望と実社会に立ち向かっていこうという気概が感じられた。学生たちの門出を心より祝福したい。

「そして新たなスタート」

4月5日、青森中央学院大学第14期生及び同大学院第8期生を迎え、入学式が厳かに執り行なわれた。こぶしの花がまだ蕾のこの日、これから始まる学生生活を前に夢と希望に満ちあふれた学生たちが晴れやかな姿を見せてくれた。青森の地でこれから花を咲かすこぶしや桜のように、学生たちの学生生活と将来に向かって大きく花開かせるため、私たち教職員一同、価値ある教育とサービスの提供に努めてゆく所存である。



地域マネジメント研究所

「スポーツコミッションを振興軸とした地域活性化に関する調査」

本学付属の地域マネジメント研究所では、青森市学術文化振興財団の助成を受けて「スポーツコミッションを振興軸とした地域活性化に関する調査」を取りまとめた。スポーツコミッションとは耳慣れない言葉であるが、簡単にいえば全国各地にあるフィルムコミッションのスポーツ版である。スポーツ大会の企画運営や大会参加者・観戦者の宿泊、交通などの手配、スポーツボランティアの募集、地域の人々との付帯交流イベントの企画などを主体的に行う組織である。米国では非常に盛んであり、欧州では複合型スポーツクラブに姿を変えて運営している。日本では観光庁が創設され、スポーツツーリズムの振興が始まりつつあり、今後急速な展開が想定されている。この報告書では日本の現状について整理すると共に、青森県におけるスポーツコミッション設立に向けた幾つかの提言を行っている。

(地域マネジメント研究所長・教授 内山 清)

国際交流センターより

新入生歓迎！ 弘前公園観桜会

4月30日、毎年恒例の弘前公園観桜会が開催され、新入生・在校生など70名が参加した。満開の桜の中、新入生と在校生、留学生と日本人学生、それぞれの交流が進んだ一日となった。



タイ・泰日工業大学と学術交流協定締結

3月2日、青森中央学院大学とタイ・泰日工業大学との間で学術交流協定が締結された。平成22年5月の約1ヶ月間、泰日工業大学の36名を日本語学習と課外活動、グリーン・ツーリズム体験を組み合わせたプログラムで受け入れたことがきっかけとなり、今後のさらなる相互交流の促進を図るべく協定を締結することになった。



サークル・ライフ Vol.1

ボウリング部

ボウリング部は、県・東北・全国大会で活躍の場を求めて、日々厳しい練習に励んでいる。昨年度は全日本新人ボウリング選手権大会・成年の部で工藤純一郎選手が4位に、また全日本大学個人選手権大会で根深滲選手が優勝を果たすなど、その活躍は目覚ましい。

昨年はわずか3人のみでの活動であったが、今年は新入部員が7名入部し、その中には宮城、福島などの県外の有力校から来た選手もいる。人数が増えた分、今年度はチーム戦への出場が可能となり、今後の一層の活躍が期待される。

(学生記者 木村 翔太 記)



ゼミ探訪

鈴木克成ゼミ

鈴木克成ゼミでは、3年・4年生が一緒になって社会学・社会問題について学んでいる。



キャラ化やゆとり教育、晩婚化など、普段当たり前だと思っていることは本当なのかという身近な疑問から広範囲のテーマを調べ、ディベートを行い、さらにレポートとしてまとめている。活動は大学内に限らず、食事や合宿・卒業旅行といった屋外での活動も行っている。積極的に発言する、人の話をよく聞くといったコミュニケーション力を高めたい人、自分に自信をつけたい人、リーダーシップを身に着けたい人にはおすすめのゼミである。

(学生記者 柳谷 優衣 記)

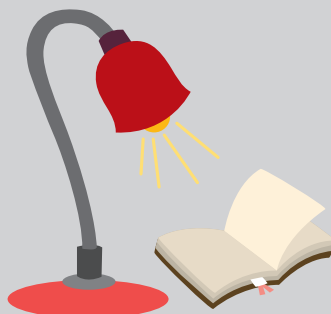
私の1冊

椎名智彦先生

『世界を知る力』

寺島実郎 著 (PHP新書, 2010)

将来、日本を飛び出して、広い世界で自分の力を思う存分試してみたい、そう思っている学生に一読を薦めたい。環境問題、エネルギー問題、テロ対策問題など、21世紀を生きる我々が直面する諸問題とその歴史的・政治的・経済的背景を、本書は分りやすく伝えている。国境が低くなった今、日本の若者は、どのような責任に目覚め、何を考え、何をなさなければならないのか。歴史を見つめる著者の眼差しは、未来へと向けられている。学生の眼差しもまた、同じでなければならない。明日の世界の設計図を書く人間は、君たちでなくて誰であろうか。



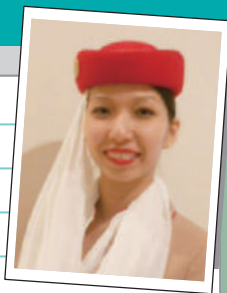
OB 通信

拝啓 青森中央学院大学様
現在、念願だったキャビンアテンダントとして、エミレーツ航空で働いています。

エミレーツ航空は、アラブ首長国連邦のドバイに本社があり、私もドバイを拠点に世界各国を飛びまわっています。

キャビンアテンダントといっても多種多様な知識が要求され、経営や法律面の知識が多く必要だったり、様々な状況に対応できる行動性も要求されたりするので、大学で学んだ知識や在学中の課外活動の経験が活かされ、とても役に立っています。

後輩の皆さん、震災の影響で就職活動が厳しいと聞いています。私も航空会社を何社も受けましたが、あきらめずに継続すれば必ず就職できると思います。そのためには、大学で知識を蓄えることと課外活動でいろいろなことに挑戦して経験することがとても大事だと思いますので、がんばってください！敬具
ラウ・ミン・フィさん(マレーシア) 第8期生



青森中央短期大学

入学式・ガイダンス

4月5日、入学式が挙
行され、食物栄養学科
63名、幼児保育学科92
名、看護学科82名、専
攻科福祉専攻24名の新
入生を迎えました。入学許可の際、新入生の名
前が一人ひとり呼ばれると、しっかりとした力
強い返事が返ってきました。



翌日からは早速、新入生ガイダンスが実施さ
れました。ガイダンス冒頭には、久保学長よ
り、本学の建学の精神や教育理念を含めたメッ
セージが伝えられました。専門職の魅力の大き
さと目指すことの大変さについて、改めて考え
るよい機会となったはずです。さらに学科別ガ
イダンスを通して、科目の学び方、そしてこれ
からの学生生活などが少しずつ見えてきたこと
でしょう。

これから始まる短期大学での生活に期待と不
安を持ちつつも、それぞれの意気込みや思いを
しっかりと持ってきていることが、新入生の表情
や様子からも伝わってきました。それぞれの夢
の実現に向けて、どのような学びや生活を送っ
ていくのか、今後がとても楽しみです。

(学務委員長 時本 英知)

SESSIONS ON THE ARTS 2011 響感アート交流地点

今年度は劇団・渡
辺源四郎商店「シュ
ウさんと修ちゃんと
風の列車」「県立戦
隊アオモレンジャー
全国放送版」のドラマリーディング作品を、書
家三原有船先生とのコラボレーションという形
で公演しました。当日は、定員を上回る270名
近くのお客様の来場で、立ち見が出るほどの賑
わいとなりました。三原先生の作品が言葉の洪水
となってステージ周辺に埋め尽くされ、そこ
に魂が宿るようなエネルギーを感じました。プ
ロローグでパフォーマンスされた文字は「風の
列車」。書きあげられた瞬間、会場は異空間とな
り、観客全体が列車の中にいるような錯覚を覚
えました。



前半の作品では生きて繋がっていく意味、自
分の存在の意味を考えさせられました。後半の
作品で一転、ポップなテンポが観客の心をわし
づかみ、対象的な二作品を味わうことで、「な
べげん」の魅力を再確認しました。また、幼児
保育学科の卒業生が劇団員としてステージの要
となっている姿を見て、心から嬉しく、そして
誇りに思いました。

(地域社会活動委員長 前田 美樹)

チュラロンコン大学視察団受入

2月13日～18日まで、医療関係施設の視察を目的として、
チュラロンコン大学看護学部長ユピン先生と看護師15名が来青
した。

チュラロンコン大学とは2010年10月に学術連携協定を結んで
おり、今回は締結後初の訪問となった。一行は特別養護老人
ホーム三思園、青森慈恵会病院、青森芙蓉会病院等を視察し、
タイにおいて課題となっている老人介護分野の他、看護システ
ム、地域ネットワーク等について、施設内を見学しながらの実
地研修となった。視察団は、老人介護施設、病院共に施設内が
衛生的で効率よく組織されていることや、各施設での看護師の
方々の丁寧な対応ぶりに感嘆していた。

一行はこの他、青森中央学院大学で力を入れているグリー
ン・ツーリズムの一環として農家民泊を体験した。1泊2日、日
本の生活文化に触れ、地域の方々とのふれあいを満喫したよう
である。



先生の自分史 「寿命」

看護学科学科長 **三田 禮造**



大学入学後、3度の大病を患いましたが何とか今日まで生きてこれられました。

大学3年の時に腎炎、医師となつてからは2回の肝炎を経験しています。当時肝炎は外科系医師の間では避けられない職業病の一つと言われていました。同期で外科を勉強した仲間は肝炎の後遺症で2名が亡くなっています。何とか生き延びられたのは幸いです。

私が生まれた時の平均寿命はまだ四十代でしたが、現在の男性の平均寿命は30年以上延長しています。一方世界中では未だ平均寿命が四十代という国もあり、健康問題では大きな格差が認められています。

健康で長生き出来ることに感謝をして毎日を生活していきたいものです。今後何年続くでしょうか。

読んで欲しいこの1冊

食物栄養学科 **棟方秀和先生**

『大学生からの文章表現』

—無難で退屈な日本語から卒業する—

黒田龍之助 著 (ちくま新書, 2011)

作文、小論文、感想文、随筆、エッセイ、実用文でもない「日常文」。著者の黒田氏が考えた新しい文章のカテゴリーである。まだメジャーな呼び名にはなっていないようだが…。日常文とは「読みやすく楽しい文章」のことだ。読みやすければ読んでもらえる。さらに楽しければ好印象を与えるだけでなく、わかりやすさをも補強する。大学生にはこのような文章を作成する力が必要なのではないだろうか。

大学授業ふうの構成で、日常文作成のポイントが実例入りで紹介されている。「～と思う。」を使わない、「わたしは」で文を始めない、(笑)はほどほどに、文体をちょっと崩す。文章表現が苦手というみなさん、まずこの本を手にとってみよう。この本を読み終えるころには、文を書くことへの抵抗感がなくなるはず。文章を書くのが好きな人も、新たな文章表現の世界が開けるかもしれませんよ。

研究室を訪ねて

～片川ひろえ・来住かおり研究室～

授業中、片川先生や来住先生はジョークを交えた会話や友達同士でのグループワークを通じてコミュニケーション能力を高めてくれます。

資格取得のために、心を鬼にして私達に指導をしてくれますが、研究室に行くと授業中とはまた違う雰囲気私達を出迎えてくれ、学校生活や就職活動、好きな人の相談などを、一人ひとりに向き合っアドバイスをしてくれます。

片川先生と来住先生の笑い声が響く研究室は、不安や悩みを笑い笑顔で吹き飛ばしてくれるような気持ちになり、また相談しに足を運びたいような研究室です。

(専攻科福祉専攻

福士 聡香)



卒業生も活躍しています

幼児保育学科 38期生 **福沢 知巳さん**

青森市 しあわせ保育園勤務

憧れの保育士になり、三度目の春を迎えました。そして、なんとその就職先は学生時代に実習させていただいた保育園でした。実習生から保育士としての関わりになり、責任を大きく感じますが、子供たちの笑顔と成長を目の当たりにする時、改めて幸せを実感しています。短大の授業は毎日が楽しく、あっという間の二年間だったように思います。授業やミュージカルを通して、意見交換や一つのものを作り上げる事で絆が深まった仲間とは、今でも時々会って学生時代の話に花を咲かせています。その仲間や園の先生方に支えられ、これからも何事も子ども目線で考えられる温かい保育士でありたいです。



附属第一・第二・第三幼稚園 / 中央文化・浦町保育園

教育方針

—健康で明るく心豊かな子ども—

- 友達と仲良く遊ぶ。
- よく見、よく聞き、よく考える。
- 思ったことははっきり話す。
- 自分のことは自分でやる。

附属第一幼稚園



〈入園式〉手遊びがとても楽しそうね。緊張しながらも楽しそうに集中しています。



〈食育〉給食時の挨拶は感謝を込めて。「いただきます」「ごちそうさま」をしっかりと言います。



〈避難訓練〉「地震です。机の下に隠れて」一人入れないけど、しっかり頭はおさえています。

附属第二幼稚園



〈入園式〉どの子も緊張と不安気味ですが、一人で座っていられて立派でした。



〈こいのぼり誕生会〉世界でたった一つの大きなひごいとまごいです。風をうけてぐんぐん泳ぎます。



〈登園後の自由遊び〉楽しみいっぱいの時間です。ブロック遊びは大得意。

附属第三幼稚園



〈入園式〉おにいさん、おねえさんがお手本を見せてくれました。いいおへんじだったね。



〈体育遊び保育〉でこぼこ道路を歩いていこうね。おちそうだったけど、がんばったよ。



〈さくら誕生会〉いちごショートの衣装をつけて、お友だちの質問に元気に答えました。

中央文化保育園



〈入園式〉新しいお友だちを迎え、第41回入園式を行いました。みんなで楽しくすごしましょうね。

浦町保育園



〈入園式〉お父さん、お母さんと一緒に入園式。手遊び、大型絵本など、楽しい一日でした。毎日元気いっぱい、笑顔で登園してね。

先生達活躍しています 第3回

「複眼的な見方を目ざして」



附属第一幼稚園新リーダー 佐藤 恵子

今年度から附属第一幼稚園のリーダーを務めることになり緊張とワクワク感でいっぱいです。幼稚園教諭となって8年目、昨年度は年少組の担任として子ども達の成長を見守ってきました。昨年の4月はお母さんと離れず泣いていた子ども達が、今では年中組のお兄さんお姉さんとして立派に成長していることをとてもうれしく思います。また、毎年沢山の子ども達と関わる中で「待つ」ということの大切さを痛感し、子ども達から日々学ぶことも多いです。特に目標に向かって頑張り、達成した時の喜びの笑顔が忘れられません。子ども達と一緒に悩み、取り組み、喜び合いながら、「継続は力なり」を信じて、幼稚園教諭としてのやりがいを感じている毎日です。

「笑顔を忘れずに」



附属第三幼稚園新リーダー 嶋津 綾香

素直で明るい子ども達に囲まれて、毎日が楽しく、充実した日々を送っています。憧れの幼稚園教諭の仕事始めて、今年で15年目になります。仕事を始めて、1・2年目の頃は、目の前の仕事をこなすだけで精一杯でした。経験を積み、先輩達のアドバイスを受けながら、少しずつ幼稚園教諭として自分なりに成長することができたと思います。今年は、新たにリーダーという立場に立って仕事をすることになりました。まだまだ未熟な部分もたくさんありますが、自分も日々勉強を重ね、今まで私が先輩リーダーに教わってきたことを、今度は後輩達にアドバイスできるよう頑張ります。附属第三幼稚園を明るくて楽しい場所にしていきたいと思っています。

読み聞かせたい一冊の絵本

附属第三幼稚園 八木橋 ひろみ園長

『にゃーご』

宮西 達也 作・絵 (鈴木出版, 1997)

宮西達也さんの絵本『にゃーご』は、ねこが、ねこの怖さを知らない子ねずみたちの無邪気さや優しさに感動し、結局、子ねずみたちを食べられなくなるというお話です。

「にゃーご、食べてやるぞ」と画面からはみ出しそうなねこの顔、無邪気な子ねずみたちの表情…とにかく視覚的な絵がいいのです。そして、どきどきさせながらも優しさいっぱいのストーリー。

小さい子は、絵と文を同時に読めないの、
「絵本は大人が読んであげる本である」とよく



言われますが、ねこと子ねずみになったつもりで会話文を読んであげているうちに、子どもたちの感動が伝わってきて、読み手としても嬉しくなるお勧めの一冊です。

英会話遊び保育・教室 アンジェロ先生!



今年度より、アンジェロ・エチェバリア先生がいらっしゃいました。先生は、アメリカ・シカゴ出身。5歳よりピアノ・歌唱を始められた他、空手・ダンス・ジャズ・ヒップホップも得意な、大変明朗活発な先生です。

さらに、簡単な英会話慣用フレーズについて、ゲームを行いながら反復させる勉強法や、遊びやゲームを通して、身体的・精神的・社会的に成長できるプログラムを開発、県内の幼稚園で精力的に実践されています。

園児たちも、アンジェロ先生と大いに楽しみながら英会話を学んでいます。今後も充実した内容で指導を行って参りたいと思います。



青森中央経理専門学校・青森中央文化専門学校

卒業証書授与式

3月19日、平成22年度卒業証書授与式が挙行された。

青森中央経理専門学校経理情報科、青森中央文化専門学校服飾科の卒業生へ、石田校長、久保校長から一人ひとりに、卒業証書が授与された。

卒業生を代表し、青森中央経理専門学校の山口敬義さんが、社会人としての抱負を述べ、夢に向かっての第一歩を踏み出した。



入学式・オリエンテーション

4月9日、入学式が挙行された。新入生を代表し、青森中央文化専門学校の工藤咲良さんが、「私は青森中央文化専門学校の新入生の一人としてこの場に居られる事をとても嬉しく思っています」と夢に向かっての第一歩を踏み出した。



また、4月11・12日の2日間にわたり、オリエンテーションが行われた。専門を活かした職業へ向けての授業内容、資格取得等についての説明を受け、同じ志を持つ学生同士、親睦を図った。

学生時代をいかに過ごすか？～サバイバル時代を生き抜くために～

4月12日、青森ファイナンシャル・アカデミー代表・菅原伊佐雄氏を招き、「学生時代をいかに過ごすか？～サバイバル時代を生き抜くために～」というテーマで講演会が行われた。

菅原氏は、学生生活を無駄に過ごさないためのアドバイスや、多方面に通じるスキルを身に付けることの重要性を、自身の実体験を交えながら学生に熱く語られた。

学生からは、「現代社会を生き抜く為に、積極的に資格取得に挑戦していきたい」「挨拶はコミュニケーションの最大手段」「新生活もスタートしたばかりなので、自分から挨拶をして友達をたくさん作りたい」といった感想が寄せられた。



自分の未来像

青森中央経理専門学校 1年 清藤 由紀



私は幼い頃から医療従事者として病院で働きたいという夢を持っていました。先日の東日本大震災の様子をテレビで見て以来、医療従事者として働き、困っている人の手助けをしたいという気持ちが一層強くなりました。

今は、専門的な技術や知識を一生懸命学んでいます。難しく、大変ではありますが、楽しく、充実した毎日を過ごしています。将来は、医療事務として、医師や看護師の支えになるような人材になりたいです。そのためにも毎日の積み重ねを大切にし、「医療従事者になりたい」という強い意志を持って毎日の勉強に励んでいきたいと思えます。

進級者の意気込み

青森中央文化専門学校 2年 荒内 真美



入学して一年、学校行事やイベントに参加し、たくさんの感動や達成感と共に改善点や新たな課題も見つかりました。今年度はその経験を活かして誰かの心を動かすような作品、ショーを計画していきたいと思っています。

これから本格的に始まる就職活動の為にも、企業に求められる人材を目標に、スキルや人間性を高めていきたいです。また、残りの貴重な学生生活は、日頃の活動を通して、「今しかできないこと」「今だからできること」に積極的に取り組み、学校以外でも様々な活動に参加し、新たな発見や人との繋がりを大切にしていきたいです。

経理発信情報 Vol.1 ~観光コンシェルジュコース~

【Topics 1 サークル紹介】

この度、「旅行情報サークル」を立ち上げました。ツアープランニングのお手伝いを中心に、おススメ観光地、ホテル・グルメ等、有益な情報を発信していく予定です。学术交流会館3階奥の専門学校学生会室で、出校日の15時~17時に活動していますので、お気軽にお越しください。また、観光地・観光施設・ホテル等のパンフレットをお持ちいただければ、情報として役立てていきます。

【Topics 2 観光コンシェルジュコース目標】

平成20年10月の観光庁発足、東北新幹線新青森駅開業等で、青森県の観光産業はこれから益々注目されます。本コースでは、観光ビジネスとしての旅行・観光・運輸等の分野における知識の習得から企画開発までを学習する他、ホテルや旅行会社での実習、観光ガイド等充実した課外活動プログラムで実践力を養い、地元青森を“元気にする”人材育成を目指します。

おススメ図書 vol.1

青森中央文化専門学校 佐々木 美保子先生
『神様のカルテ』1・2
夏川草介 著 (小学館, 2009, 2010)

信州の総合病院に勤務する青年医師と個性的な人々の日常を綴る心温まる一冊です。医師の過酷な勤務状況、医療現場を描いていますが、信州の山や花、四季の情景が浮かんでくるようなエピソードや描写、また2のラストに涙するのは私だけではないのでは？

2004年から『全国書店員が選んだ いちばん！売りたい本』の本屋大賞が発表され、受賞作が100パーセント映画化されるほどのベストセラーになっています。見てから読むか、読んでから見るか…。この作品も2010、2011年に受賞しています。今回本の帯に「映画化！妻役ハル宮崎あおい！」とありました。読み進めていくうちにあまりにもはまり役であると感じ、まるで映画を見ているような感覚になりました。

ファッション通信 vol.1

2011 春夏 今季のスタイリングマストアイテム 【ボーイフレンドジャケット】

ボーイフレンドのジャケットを借りてきたような、広めの肩幅、シェイプしていないウエスト等、メンズライクなボックス型ジャケットの事で、丈はお尻が隠れる程度の長さでダブルブレストタイプが主流である。

柔らかなジャージー素材で袖をロールアップしたり、前ボタンは留めずにラフに着こなす。また、レースをあしらった袖裏でクールフェミニンな着こなしや、チュールレースを重ねたボリューミーなひざ丈スカートと組み合わせた甘辛ミックスが今季風である。



(デザイン画 青森中央文化専門学校2年 荒内 真美)

卒業生ピックアップ No.14

青森中央経理専門学校 平成21年度卒業
山形 洸太郎さん
デジタルサービス 勤務

私は現在、ドコモショップのスタッフとして働いています。いざ働き出してみると、初めて体験することも沢山ありますが、学生時代のようにビジネスマナーを体験して学んできたことが、社会に出てからとてもためになったと感じました。パソコンの知識はもちろんのこと、簿記や計算能力などについても専門学校で学んできて良かったと思うものばかりです。

後輩の皆さんは、学校生活で過ごす時間を大事にして欲しいと思います。もし時間を持て余しているなら、勉強でも、遊びでも、今しかできないことを見つけて行動し、充実した学校生活を送って下さい。



新教職員紹介

- ① 職位・氏名
- ② 出身
- ③ 担当
- ④ 抱負

青森中央学院大学

経営法学部



- ①専任講師 森田 学 (もりた まなぶ)
- ②兵庫県
- ③経済学概論、ミクロ経済学、マクロ経済学
経済政策
- ④シンクタンク勤務を経て、昨年10月からお世話になっています。教育・研究に頑張っ
て参りますので宜しくお願いします。

地域マネジメント研究所



- ①NGUYEN CHI NGHIA
(グエン・チ・ギア)
- ②ベトナム
- ③プロジェクト推進、研究支援、大学院、
「アジア経済論」
- ④本学にて育てて頂いたことの恩返しができる
よう、6年間東北大学大学院で研究活動に
従事し、多くの知識・経験を積み重ねて、
持ち帰ってきましたので、本学の更なる発
展に貢献し前進していく所存です。

青森中央短期大学

食物栄養学科



- ①教授 久保 富男 (くぼ とみお)
- ②青森県
- ③学生相談室
- ④教育は、「自分さがしの旅」を扶ける営み
です。皆さんの「旅」のプランが、絵に描
いた餅にならないように支援します。覗い
てみませんか、相談室を！！



- ①教授 村上 謙藏 (むらかみ けんぞう)
- ②青森県
- ③教師論他
- ④学習支援センターで「書く力」等について
共に学び、希望の就職につながるようサ
ポートしたいと思います。

幼児保育学科



- ①専攻科主任・准教授 工藤 久 (くどう ひさし)
- ②青森県
- ③介護福祉学
- ④障害を持つ対象者に対して、人権尊重を基
に「思いやり」と「冷静な頭脳」を兼ね備え
た人になっていただけるよう頑張ります。



- ①准教授 赤木 恭子 (あかき きょうこ)
- ②岡山県
- ③造形、美術教育領域、造形表現法、表現発
表演習、児童文化など
- ④造形教育を通して、自ら学び、自らを見つ
めて語り合える創造の場を目指して参りたい
と思います。



- ①専任講師 来住 かおり (きし かおり)
- ②東京都
- ③こころとからだのしくみ、高齢者の健康・
心理など
- ④大好きな東北・青森で、大好きな乗馬を楽
しみつつ介護教育と研究に邁進したいと
思っております。



- ①専任講師 鈴木 寛康 (すずき ひろやす)
- ②福島県
- ③幼児体育
- ④学生のために何が出来るか、学園にどう貢
献できるのかを考えてがんばりたいと思
いますので、よろしくお願いいたします。



- ①専任講師 松浦 淳 (まつうら じゅん)
- ②山口県
- ③発達心理学、教育心理学、保育内容総論、
保育原理、保育実習指導など
- ④受講する皆さんが「発達ってなんだ？」とい
うことを、自分を通じて味わい、係わりに生
かすことができるよう、全力で応援します。

看護学科



- ①教授 古橋 洋子 (ふるはし ようこ)
- ②東京都
- ③基礎看護学
- ④永年看護教育に携わってきた経験を生か
し、看護専門職を目指す学生を導くことが
出来たら最高です。



- ①教授 岡崎 勝博 (おかざき かつひろ)
- ②愛媛県
- ③対人関係論、精神看護援助論など
- ④南国育ちの私には、北国の春が待ち遠しい
日々です。でも、皆さんの暖かい愛に包まれ
心の中は既に春です。微力ながら学園の発
展に少しでも寄与できればと願っています。



- ①教授 北原 かな子 (きたはら かなこ)
- ②秋田県
- ③英語、ジェンダー論、郷土と文化
- ④青森県の近代を研究してきました。授業を
通して、青森の魅力を皆さんに伝えてい
きたいと思っています。



- ①助教 藤澤 珠織 (ふじさわ しおり)
- ②北海道
- ③基礎看護学、解剖生理学
- ④学生の皆さんが持つ看護への情熱upに少
しでも貢献できますよう、精進して参り
ます。宜しくお願いします。



- ①助手 阿保 佑 (あほ ゆう)
- ②青森県
- ③看護学実習
- ④助手の仕事は不慣れな事ばかりですが、早
く覚えて先生方のサポートができるよう
に、精一杯頑張ります。

青森中央経理専門学校



- ①佐藤 紋子 (さとう あやこ)
- ②青森県
- ③ビジネス活用、データベースなど
- ④4月から新入生の皆さんと同じ、新たな気持ちで社会人生活を過ごすことになりました。わからない事はどんどん吸収し、人間力をアップしていきたいと思います。趣味は、愛犬の散歩&ドライブです。

幼稚園・保育園

附属第一幼稚園



- ①渡邊 ちひろ (わたなべ ちひろ)
- ②青森県
- ③4歳児ちゅうりっぷ組
- ④子ども達と毎日元気に遊び、子どもの気持ちを理解できるよう心掛けていきたいです。

附属第二幼稚園



- ①前田 祥乃 (まえだ さちの)
- ②青森県
- ③5歳児うめ組
- ④元気いっぱい子どもたちに囲まれながら、共に成長していきたいと思います。まだまだ未熟な私ですが、精一杯頑張っていきますのでよろしくお願いします。

附属第三幼稚園



- ①新岡 奈々 (にいおか なな)
- ②青森県
- ③5歳児はくちょう組
- ④新しい環境に早く慣れ、子どもたちと楽しく過ごしていけるよう頑張ります。よろしくお願いします。

中央文化保育園



- ①對馬 彩花 (つしま あやか)
- ②青森県
- ③2歳児こりす組
- ④子どもの気持ちに寄り添い、子ども主体の保育を展開していけるよう頑張っていきたいです。

事務局



- ①櫻井 祐介 (さくらい ゆうすけ)
- ②大阪府
- ③総務課・野球部コーチ
- ④硬式野球部のコーチとして、野球部が全国大会に出場し、大学を盛り上げていけるように頑張りますのでよろしくお願いします。



- ①山口 敬義 (やまぐち のりよし)
- ②青森県
- ③総務課
- ④4月からこの学校で働かせていただくことになりました。初めてのことがたくさんあり、教員や職員の皆様には色々ご迷惑や心配をおかけすると思いますが、よろしくお願いします。



- ①佐藤 桃子 (さとう ももこ)
- ②青森県
- ③学務課
- ④一瞬の出来事や出会いを大切に、皆さんと力を合わせて、この学校を笑顔と希望と幸福を見いだせる場所にします。



- ①今 未夢 (こん みむ)
- ②青森県
- ③学務課
- ④まだまだ分からないことだらけですが、1日1日を大切にしていきたいです。



- ①長谷川 正輝 (はせがわ まさてる)
- ②青森県
- ③教育開発推進課
- ④より良い環境へ本学に貢献できればと考えております。どうぞよろしくお願いします。



- ①佐藤 範生 (さとう のりお)
- ②大阪府
- ③地域マネジメント研究所
- ④地域マネジメント研究所で青森・東北を活性化させる為に様々なプロジェクトに取り組んでおります。よろしくお願いします。



- ①横浜 節子 (よこはま せつこ)
- ②青森県
- ③健康管理室
- ④“笑顔は元気の源”いつも笑顔で皆様のお元気のために、力になれるよう精進していきたいです。よろしくお願いします。

インフォメーション

教員免許状更新講習

平成21年4月より教員免許更新制が導入され、満35歳、45歳、55歳の現職教員・教員採用内定者は必ず更新講習を受講し、更新手続きを行うことが義務付けられた。本学園でもこの制度を受けて、昨年度より地域の高等教育機関と連携をとりながら、各設置校の特色を生かした教員免許更新講習を実施している。

今年度の講習日程・内容については以下の通りである。不明な点は、県教育委員会へ問い合わせ願いたい。

【開講一覧】

主催・講習会場：青森中央学院大学

時間数：6時間 時間：9時～17時40分 対象職種：小・中・高等学校教諭

- 8月4日(木) しなやかに、賢く生きるための経済・法律リテラシーの養成(I) —「労働」を鍵概念として—
- 8月5日(金) しなやかに、賢く生きるための経済・法律リテラシーの養成(II) —「消費者」を鍵概念として—
- 8月6日(土) しなやかに、賢く生きるための経済・法律リテラシーの養成(III) —「企業」を鍵概念として—
- 8月15日(月) しなやかに、賢く生きるための人間力 —Human strength— の発達と教育

主催・講習会場：青森中央短期大学

時間数：6時間 時間：9時～17時40分

- 8月15日(月) 9時～17時30分 食育カリキュラム作りの実際 対象職種：小・中・高等学校教諭、養護教諭
- 8月16日(火) 9時～13時50分・8月17日(水) 9時40分～14時
子どもの運動・遊びと心身の発達 対象職種：小・中・高等学校教諭

公開授業「現代社会論」

青森中央学院大学では、前期に公開授業として「現代社会論」を開講している。今年度は「未来を覗く ～日本の課題と今後の選択肢～」のテーマで、明日の日本を考える基点として、様々な側面から現代社会の諸像をオムニバス形式で追っている。現在の日本社会をどのように認識していくべきか、その答えは無限大にあると同時に、見失ってはいけない重要なポイントも存在する。本講義では未来を見通す力を養うため、そのきっかけとなる出発点を提供していきたいと考えている。

【今後の開講予定】

会場：青森中央学院大学学術交流会館

時間：16：10～17：40

日程	テーマ	講師
6月2日(木)	新たなコミュニケーション手段の登場と経済社会への影響	新免圭介
6月9日(木)	観光立国の可能性と新たな観光行動	岩船彰
6月16日(木)	混迷する現代社会とメディア報道	苫米地重亨
6月23日(木)	ストレス社会とセラピー文化の隆盛	加藤澄
6月30日(木)	現代人の幸福の形	鈴木克成
7月7日(木)	拡大するスポーツ市場とスポーツヒーロー	奥村俊樹
7月14日(木)	グローバル時代における国際人材の育成	尾崎正利
7月21日(木)	未来に生きる若者は何を学ぶべきか	丹藤進

公開講座案内

青森中央学院大学・青森中央学院大学大学院

●公開講座「市町村長リレートーク ～人づくりと地域社会～」

会場:青森中央学院大学 学術交流会館 時間:13:00~14:20

日程	テーマ	講師
7 / 6 (水)	「ふるさと力」を活かしたまちづくり	十和田市長 小山田 久氏
7 / 13 (水)	若者よ、一隅を照らす人となれ!	北海道松前町長 前田 一男氏
7 / 20 (水)	みんなで創る 心豊かな 優しいまち	藤崎町長 小田桐 智高氏

●公開ワークライフショップ「ワーク・ライフ・バランス」

会場:青森中央学院大学 学術交流会館 時間:13:00~14:20

日程	テーマ	講師
6 / 15 (水)	自分らしく生きる ～仕事も家庭も地域生活も～	株式会社東レ経営研究所 ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長 渥美 由喜氏
6 / 22 (水)	働くこと生きること パート1 ～労働・結婚・子育て～	ファシリテーター NPO 法人あおもり男女共同参画を進める会 コメンテーター
6 / 29 (水)	働くこと生きること パート2 ～労働・結婚・子育て～	独立行政法人国立女性教育会館研究国際室長 中野 洋恵氏 NPO 法人あおもり男女共同参画を進める会理事長 白井 壽美枝氏 コーディネーター 高橋 興

●留学生による会話教室 (ベトナム語)

教室	日程	時間	回数
ベトナム語	6 / 28(火) ~ 7 / 12(火)	18:30 ~ 19:30	毎週火曜日・金曜日 全5回

青森中央短期大学

●公開講座

	日程	内容	講師	場所
第1回	9 / 4 (日) 14:00 ~ 15:30	「おいしいコンサート」 ～コーヒー講座とアフタヌーンJAZZ～	コーヒー講座担当: 成田 専蔵氏 (弘前コーヒースクール主宰) ジャズ演奏担当: 木村 貴子 他	本学
第2回	9 / 10 (土) 10:30 ~ 12:00	癒しのアロマハンドマッサージ	村山 志津子	本学

附属第一幼稚園・附属第二幼稚園・附属第三幼稚園 中央文化保育園 浦町保育園

●公開保育「思っきり水遊び」

会場:青森中央短期大学室内プール

	日程	時間	内容
第1回	7 / 9 (土)	10:00 ~ 12:00	水に親しませ、健康増進と水による事故から身を守るとこをねらいとしています。 さらに、生涯の楽しみにつながるよう、保育者全員で安全管理に万全を期しています。
第2回	7 / 13 (水)	10:00 ~ 12:00	
第3回	7 / 20 (水)	10:00 ~ 12:00	

青森中央経理専門学校

●公開講座

会場:学術交流会館

日程	内容	対象
9 / 16(火) ~ 9 / 28(木)	国内旅行業務取扱管理者試験 (9/11) 直前対策講座	一般・本学園生
9 / 28(水) ~ 11 / 16(水)	日商簿記検定3級 (11/20 実施) 直前対策講座	一般・本学園生

青森中央文化専門学校

●公開講座

会場:学術交流会館 時間:10:00~12:00

日程	内容	対象
第1回	ファッションアドバイザーの一日 ~ラッピングの実演・体験~	中学生
第2回	夏休み自由研究 ~オリジナル手作りバックに挑戦~	小学生
第3回	革の休日 ~お手入れ方法と手作りシューツリー~	一般

学習支援センターのご案内

7号館1階キャリア支援センターの隣にある学習支援センターでは、主として次のような正課外の学習・学生生活支援をしています。

- ① 入学前サポート学習会、リメディアル講座、サークル学生学習会等の運営
- ② プレースメントテストの実施、分析
- ③ 学生による体験型プログラム、地域社会活動の参加支援
- ④ 大学院・専攻科への進学、四年制大学への編入学相談
- ⑤ 各種資格対策講座の実施
- ⑥ サークル活動の支援等

学習支援センターには、相談員・スタッフが常駐しており、学生からの様々な相談の対応のほか、論作文指導等も行っています。



国際交流センターのご案内

国際交流センターは、学術交流会館1Fカフェテリアの奥にあり、海外留学や語学試験などの関係資料を閲覧したり、4台設置しているパソコンを使用したりすることができます。

そのほか、留学生と日本人学生、留学生同士、日本人学生同士など、様々な交流の場としても利用することができます。利用にあたっては、国際交流センター(international@aomoricgu.ac.jp)にお問い合わせください。



学生相談室・健康管理室のご案内

学生相談室・健康管理室では学生の悩みや学校生活に関わる適応上の相談に対応し、学生が健全で充実した学校生活を送ることが出来るように支援しています。相談内容については、(1)人間関係に関すること、(2)自分自身に関すること、(3)健康に関すること、(4)学業に関すること、(5)家族に関すること、(6)ハラスメントに関すること、(7)禁煙に関する相談について、(8)その他室長が受理を認めた事項です。

■対象者

本学在学学生またはその保護者、学生相談運営委員会が認めた者

■相談形態

(1) 面接による相談 (2) 電話による相談

■学生相談室および健康管理室の連絡先

本学7号館1階 学生相談室 内線1716
健康管理室 内線1717

■学生相談室の担当時間（前学期）

久保	月・木	9:00~17:00	火	10:30~17:00
成田	水	9:00~17:00		
針谷	火	9:00~10:30	金	9:00~17:00



■健康管理室の担当時間

横浜 月~金 8:50~17:40

※上記時間には担当職員が常駐して健康相談に応じます。担当者が不在の時は、学習支援センターまたはキャリア支援センターに連絡ください。

図書館へ行こう

■開館時間 平日 8:50-21:00 土曜日 8:50-17:00
休館日 日曜日、祝祭日(7月除く)・年末年始

■休日開館

7月に休日開館を行います。開館時間は8:50-17:00です。
前期試験期間でもありますので、ご活用下さい。

■貸出冊数・期間

学生・一般利用者 5冊まで 期間:2週間(看護分野:1週間)
大 学 院 生 10冊まで 期間:1ヶ月

■地域住民へのサービス

本学園図書館は地域住民の方にも開放しています。本学の設置学科の図書「経営・法学・食物栄養・幼児保育・看護・介護福祉」の分野を中心に幅広く図書を収集しています。是非ご利用ください。

※初回、利用証作成が必要です。身分証明証(運転免許書・保険証など)を持参してください。

■読書マラソン(本学園生対象)

あなたが一冊の本から得た感動を伝えませんか。

- ・オスズメの本(図書館から借りた本に限る)の紹介カードを作ると、図書館内で掲示します。
- ・紹介カードを1枚作成する毎に1ポイント付与され、12ポイントで購買・カフェテリア利用券をプレゼントします。



「こぶしの花」表紙掲載写真募集!

- 募集内容
- ・「こぶしの花」(表紙)に掲載することを目的に、写真作品を募集します。
 - ・青森田中学園内の風景を題材にして下さい。
- 募集期間
- 第82号(9月上旬発行予定)―7月上旬まで 第83号(12月上旬発行予定)―10月上旬まで
- 投稿の資格
- 本学園在学生
- 投稿方法
- ・データによる募集とします。(投稿メールアドレス:kobushiphoto@aomoricgu.ac.jp)
 - ・写真データはなるべく高解像度のものにして下さい。(データサイズ8メガまで)
 - ・メールの表題は「こぶしの花写真応募」として下さい。
 - ・メール本文には「学部学科・学籍番号・氏名・(電話番号)」を記入して下さい。
- 注意事項
- ・カラー写真に限ります。
 - ・本人が撮影した、未発表作品に限ります。
 - ・人物が写真に含まれる場合は、肖像権の問題などがあるので、人物の特定ができないようにするか、人物が含まれないようにするなど注意して撮影して下さい。
 - ・合成写真などは応募できません。
 - ・掲載に際しては、写真に加工等をする場合もあります。
 - ・公序良俗に反する写真の投稿は禁止します。
 - ・掲載した写真の著作権はこぶしの花編集委員会に帰属します。
 - ・写真の選定はこぶしの花編集委員で行います。採用の問い合わせや苦情などには一切お答えできませんので、ご了承下さい。

東日本大震災の対応について

青森田中学園では、3月11日の地震の後、直ちに対策本部を立ち上げ、ポータルサイトからの緊急メール等で学生の安否確認を行い3月16日までには在学生全員の無事を確認しました。

学園では、被災した学生に対して、被災の状況に応じて授業料等の減免・延納等の対応を行いました。また、被災により長欠した学生への学習支援や、被災学生へのカウンセリング等の対応も実施しています。

祝賀会費を義援金へ

この度の震災により、青森中央学院大学・青森中央短期大学では、学位記授与式後の祝賀会を中止し、祝賀会の会費を被災地の義援金として寄託させて頂きました。

3月31日、卒業生を代表して学院大学 松谷大喜さんと短期大学 太田真美さんが青森県庁を訪問し、三村申吾青森県知事へ義援金1,036,750円の日録を手渡しました。青森中央学院大学第10期生・青森中央短期大学第40期生の卒業生の皆様、ご父母の皆様からのご協力に感謝申し上げます。



願いよ届け 一被災された方々へ

青森中央学院大学

3月24日より1週間、サンロード青森専門街において、メンバー8名と学友会以外の学生2名、計18名が青森公立大学の学生と共同で東日本大震災被災者支援のための募金活動を行った。多数の地域住民の方にご協力頂き、おかげで1,558,236円の支援金が集まり、3月31日の活動終了後、日本赤十字社へ届けました。

(学生記者 増井 誠也 記)

青森中央短期大学

4月5日入学式当日、式に集まった父母も含めて、学内にて幼児保健学科2年5名で募金活動を行い、38,613円の義援金を集め、NPO非営利法人プロ・ワークス十和田へ寄付しました。

(幼児保育学科2年

長沼 宏太)



学生ボランティア岩手県野田村へ

東北地方の多くの地域が被害に遭い、被災者は現在も避難所生活を強いられている。こうした窮状に少しでも手助けを行うべく、4月15日、本学大泉光一教授率いる学生ボランティア25名が、今回の震災で被災した岩手県九戸郡野田村に向かった。

現地で学生ボランティアは、津波によって泥で汚れた建物内の床の清掃や、支援物資の分別などを行った。本学では、ボランティアを希望する学生が多数いたが、学生の組織化に効率性を欠く部分もあり、今回は25名のみの参加となった。しかし、今後、効率的な組織化をはかることにより、被災者の救援が積極的に進めていけるであろう。(学生記者 高桑 健基 記)



青森田中学園報「こぶしの花」第81号

発行日：2011. 6. 30

発行：学校法人 青森田中学園

〒030-0132 青森市横内字神田12

TEL：017-728-0131

FAX：017-738-8333

<http://www.aomoricgu.ac.jp>

<http://www.chutan.ac.jp>

「こぶしの花」編集委員

編集長 加藤 澄

中村 實枝子 牧野 晴子

佐藤 紋子 坪谷 輝子

赤坂 敦子 八木橋ひろみ

高橋 晴美 中田 尋美

学生記者

今号より学生記者の諸君に、学園報「こぶしの花」の取材を手伝ってもらうことになりました。



木村 翔太 高桑 健基
増井 誠也 柳谷 優衣



青森田中学園報「こぶしの花」第81号

発行日：2011. 6. 30

発行：学校法人 青森田中学園

〒030-0132 青森市横内字神田12

TEL：017-728-0131

FAX：017-738-8333

<http://www.aomoricgu.ac.jp>

<http://www.chutan.ac.jp>

「こぶしの花」編集委員

編集長 加藤 澄

中村實枝子 牧野 晴子

佐藤 紋子 坪谷 輝子

赤坂 敦子 八木橋ひろみ

高橋 晴美 中田 尋美

学生記者

木村 翔太

高桑 健基

増井 誠也

柳谷 優衣